
信号機

maimai

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

信号機

【著者名】

mai mai

N5259A

【あらすじ】

もし、一日だけ、別のものになれたとしたら・・・

職場一日体験、といふことになるのかなあ。

もし、一日だけ別のものになれるとしたら、信号機になつてみたい。
道路に立つてゐる、あの信号機。

車好きにはたまんない体験だよ、きっと。

一日一箇所に留まつていらでいろいろな車が、見放題。
けつこう高い位置から見られて、気分は向上。

あんまり注目されない。

見られるとしても、ほんの一瞬だけ。

いろんななかたちの車、いろんな色の車、いろんな大きさの車、そこ
に乗つてゐるひとをも観察できる、とても魅力的な場所。
いないと交通はメチャクチャになるだろうし、でも、あんまり嫉妬
深く迫つてこられたりもしないし。

必要とされている存在だけ、あんまりギトギトしてない職場。
いわばドライな立場？

声を発しなくていいし、いろんな光景を一箇所で見ることができる。
うーん、なんておいしい場所なんだろう。

いつでも誰かにそばにいられると、時々嫌気が生じたり。

いつでもひとりぼっちだと、ほんとは寂しげにやけに強がつた
り。

だから時々、こうこう信号機みたいなところに一日たたずんで、流
れに身を任せてみるつて体験も、必要なのかもね。

でも、ずっと一箇所にたたずんで、自分以外の者たちだけがただた
だ動いていくのを見ているのも、狂おしいほどに辛くなつたりもす
るから、信号機体験も時々でいい。

こんなふうに、いろいろ時々つてこうことを、忘れないようにしてく
う。

いつも同じ状態では、そこにあるはずの大切なものを感じられなく

なっぢやう氣がする。

だから時々、離れてみたり、時には留まつて悩んだりして。
別のところで、さつきいた場所のありがたみとか、急に分かつたり
もする。

そういうふうに、いろいろ巡つて、それぞれに存在している大切な
ことたちを、見つけてあげたい。

その一箇所に、信号機みたいな場所をキープしておいても、ありだ
よね？

うん、ありあり。

(後書き)

日々、ちょっとずつ想つたことを、短くまとめていきます。感想など
「これましたら、ぜひお寄せください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5259a/>

信号機

2010年10月25日02時07分発行